

秋の叙勲および褒章

～受章おめでとうございます～

秋の叙勲および秋の褒章の受章者が発表され、本市からも1人が受章されました。

おめでとうございます。

●瑞宝双光章（消防功労）
元 南島原市消防団副団長
高橋 正さん（西有家町）



南島原の「おいしい」が大集合

11月3日の晴天の中、本市の海の幸、山の幸が大集合する食の祭典「南島原 FoodExpo2016」を須川港多目的防災広場で開催しました。

当日は、約50ブースもの出展があり市内のおいしいものが一堂に揃い、訪れる人たちをたくさんの「おいしい」でもてなしました。

また、注目のイベントの一つである「おもてなし大鍋」では1,000食分のちゃんこを無料で振る舞い、来場者を喜ばせました。



長崎県初の「アイデアソン」でアイデア勝負！

本市のIT産業の普及促進などを目的として、10月21日から23日の期間内で、IT関係者がチームを編成してアイデアを出し、そのアイデアを競い合う「アイデアソン」を開催しました。

エコ・パーク論所原で開催したアイデアソン最終日の成果発表でプレゼンされた6つのアイデアのうち、酒蔵に来客を促すための情報発信アプリを制作するアイデアが、最優秀賞に輝きました。



蔵に響くクラシック

10月22、23日、有家町でありえ蔵めぐり音楽祭が開催されました。両日ともあいにくの雨模様でしたが、日本酒やみそ料理の試飲・試食、スイーツなどの販売が行われ、訪れる人たちを楽しませました。

蔵めぐりは年2回行われており、特に秋は“ありえ蔵めぐり音楽祭”と銘打って酒蔵コンサートを開催しています。



マスタース陸上 内田さんが快挙

9月に行われた全日本マスタース陸上選手権大会で、内田智恵子さん(深江町)が、砲丸投げ1位、やり投げ2位、円盤投げ2位の輝かしい成績を収めました。

内田さんは、今大会を含め、今年、入賞した23大会中、13大会で大会新記録を樹立しています。

「今年は大会新記録を多く出すことができ、特別な年になった。これからも記録更新を目標にがんばっていきたい」と更なる飛躍を誓っていました。



空手道で全国へ

空手道で8月の九州大会を勝ち抜き、見事、全国の切符を手にした選手の皆さんの激励会を開催しました。

全国大会出場選手（敬称略）

■女子組手 植木 紗貴(加津佐中2年)九州大会 優勝
野口 歩愛(加津佐小5年)九州大会 準優勝
植木 津貴(加津佐小4年)九州大会 優勝
石江 りな(口之津小1年)九州大会 優勝
■男子組手 大湊 世那(加津佐小2年)九州大会 第3位



Focus in 南島原

まちの話題



今年も大賑わい ～みそ五郎まつり～

伝説の大男「みそ五郎」にちなんで毎年行われている「みそ五郎まつり」が11月5日から6日にかけて、西有家町須川商店街一帯で開催されました。

両日とも天候に恵まれ、まつりのクライマックスのみそ五郎パレードは大勢の人たちで賑わいました。



市防災訓練で防災意識を高める

10月30日、加津佐 B&G 海洋センターで、地域住民や地元消防団、消防、警察、合わせて約340名が参加し市防災訓練を行いました。

訓練では、避難訓練や、消火器を使用した消火訓練、消防署・消防団による中洲・倒壊家屋からの負傷者救出訓練など、さまざまな災害を想定した訓練を行い、防災意識を高めました。

無人化施工発祥の地

11月13日、本市を含む半島3市からなる「雲仙・普賢岳火山砂防促進期成同盟会」が、噴火災害の復興に貢献した遠隔操作技術を後世に伝え、遠隔技術の発展を祈念するため「無人化施工発祥の地」記念碑の除幕式を大野木場砂防みらい館で開催しました。

砂防フィールドでは、人が立ち入ることができない警戒区域での砂防事業を行うため、国が無人化実証フィールドとして無人化施工技術による工事を進めており、無人化施工の訓練地としても活用されています。